

米パン工房 coneru / (有)藤本農園

ふじもと かずみ

☆☆【輝く女性】藤本 和美さん ☆☆☆

(福井県若狭町熊川 / 若狭町南前川)

若狭町農業委員、福井県農業女性農業委員の会の会長を務める藤本和美さん。平成4年、夫が家業の農業を継ぐことになり、生後間もない長男とともに、東京から若狭町に移住しました。農業と育児の傍ら、小麦のパンづくりに取り組んでいましたが、米の消費拡大のため、自社で生産したコシヒカリを使用した米粉パンづくりに転換。令和5年1月に、若狭町熊川宿に「米パン工房coneru」をオープンしました。

【米パン工房coneru】

販売品目：米粉パン、ドリンク

営業日：土日祝

【藤本農園】

経営面積：73ha

品目：水稻（コシヒカリ、ハナエチゼン、飼料用米など6品種）



伝統的な町並みを残す熊川宿に佇む「米パン工房coneru」



看板には米とパン、藤本農園の名前がデザインされている



パン作り歴13年
地元保育園にも米パンを提供

【女性活躍のポイント】

1. 女性の得意な点を活かした部門

- ・農業の傍らパンづくりに携わる。自社の米を使用した米粉パンに転換。
- ・米パン工房により、藤本農園のPRやイメージアップを図っている。

2. 家族や商工会のサポート

- ・新店舗オープンの決断には経営主（夫）の後押しがあった。忙しい時の家族のサポートも心強い。
- ・地元商工会等の経営支援や事業活用など創業支援が役に立った。

3. 女性委員として活動

- ・「女性も声を上げられる」「言わないと伝わらない」ということを先輩の女性農業委員から学んだ。
- ・女性は固定概念に囚われず、柔軟に考え、男性とは違う視点で考えられる。

【藤本 和美さんからひとこと】

- ・若狭に来た当初は、友達がない、車の免許もない、ムカデやカメムシが出るなど、大きな環境変化にとまどいましたが、息子を保育園に預けてからママ友ができて心強かったです。
- ・倉庫の米の量から米の消費が減っていることを実感し、米農家として米をもっと食べてもらいたいと思い、米パンづくりを始めました。
- ・自分たちで作った安全で信頼のできる米や厳選した材料で作った「食」を提供することを大切にしています。
- ・やってみないと成功するか失敗するかは分からないので、まずは挑戦するとよいと思います。



「現場と経営者の思いは違うと感じるが、夫と対等に話ができている」と話す和美さん
(左: 武士さん・右: 和美さん)

【藤本 武士さんからひとこと】

- ・パン工房のことは妻の自由にしたらいいと考えているけれど、経営者としては数字が一番。経営概況を数字で伝え、助言しています。
- ・米粉パンはこれからももっと伸びると思うので、いずれは藤本農園から独立してもよいし、2号店も夢ではないと思っています。